



茨城ワイズメンズクラブ  
2023 年度-2024 年度  
4 月報 Vo 1.188  
強調月間テーマ

LT

THE Y'S MEN'S CLUB OF  
IBARAKI  
CHARTERED 2006



国際会長主題..... 「Let Your Shine」  
アジア太平洋地域会長主題..... 「Be the light for change」  
東日本区理事主題..... 「未来のために今、学びと気づきを！」  
関東東部部長方針..... 「親睦を糧に、クラブライフの充実」  
茨城クラブ会長主題..... 「原点回帰」

☆今月の聖句☆

いかに幸いなことでしょう まったき  
道を踏み、主の律法に歩む人は。  
(詩篇 119 篇 1 節)

<例会プログラム>

と き:2024 年 4 月(休会)  
19:00~21:00(最大)  
と こ:筑波学園教会 教育会館 1F  
zoomによるハイブリッド開催  
zoomによるリモート開催  
司 会:熊谷光彦  
開会挨拶と点鐘:熊谷光彦  
ワイズソング:(リモート開催時はスキップ)  
ワイズ信条:(リモート開催時はスキップ)  
1、自分を愛するように隣人を愛そう  
1、青少年のために YMCA に尽くそう  
1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう  
1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさとう  
1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう  
今月の聖句・祈祷:熊谷光彦  
テーマ:新組織の名称検討・今後の活動  
方針 等  
ハッピーバースデー&  
おめでとう結婚記念日:  
スマイル:(リモート開催時はスキップ)  
茨城 Y M C A 報告:和田賢一  
次月例会日程:5 月 3 日(金)でいい?そ  
れとも 10 日(金)?それとも休会?  
閉会挨拶と点鐘:熊谷光彦

「茨城クラブと茨城 YMCA」

稲本 修一 (茨城 YMCA 代表理事)

茨城ワイズメンズクラブは、残念ながら今年度で幕を下ろすことになりました。長年継続していた組織を閉じるというのは忍びないものです。さりとて継続するには何かを犠牲にしなくてはなりません。現会長の熊谷さんには、何年も会長を務めていただき、本当にご苦労様でした。私も現在、とある会員 50 名くらいの団体の長を十数年やっていますが、高齢化が進み、なかなか跡を継いでくださる方がいません。少なくとも私よりも若い人でないと、またすぐ交替しなければならなくなります。まずは会員増強を推進するところから取り掛からないといけないのですが、この会員増強というのが、現在どこの団体でも苦労しているところなのです。

さて YMCA というのは、青少年の健全育成という将来の日本をさらには世界を背負う若者をサポートする世界に誇る団体です。私たちワイズメンズクラブの働きは、その YMCA の働きを微力ながらも応援する団体として、とても意義のある活動です。しかし茨城ワイズメンズクラブは、コロナ禍の空白もあって、このような事態になりました。私たちは YMCA を愛する一人ひとりであることに変わりはありません。形は変わるかもしれませんが、これからも YMCA の応援団で居続けたいと個人的には思っています。そして、これまで一緒に活動してきた皆様も同じお気持ちであることを、先日のクラブの話し



ウクライナ難民支援コンサートにて

合いの時に強く感じました。

茨城 YMCA の代表理事という立場から申し上げますと、茨城 YMCA はこれから大きく成長するであろう YMCA だと思います。茨城 YMCA を、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

## 【例会報告】

3月例会は、8日(金)の19時から21時まで、筑波学園教会の教育会館1Fをお借りして、そしてzoom環境も用意してハイブリッド開催いたしました。

この日の例会は、茨城クラブの今後の方向について会員全員の意思確認をするため「臨時総会」として会長が会員を召集し(欠席の場合は会長に委任するとの了解をあらかじめ得た上で)開催しました。十勝クラブの山下さん(東日本区次々期理事)が心配して駆けつけてくださり(翌日は東山荘へ向かうとのこと)、千葉ウエストクラブの長尾さん(関東東部今期部長)がオンラインでつながっていただきました。

茨城クラブのワイズメンズクラブとしての存続はやはり難しく、解散やむなしという結論となり、全会一致での「クラブ解散」を決議いたしました。そこで参加者から出た意見の概略を以下に記します。

村田：茨城クラブの解散の経緯について、ブリテン等での伝え方には問題があったかもしれない。けっしてワイズメンズクラブのあり方に疑問があったわけではなく、つまるところは会員各々の個人的事情(健康問題、年齢、他のライフワーク、仕事)が重なったためだったと考えられた。

茨城クラブのワイズメンズクラブとしての存続を考えるなかで、ワイズメンズクラブの理解は深まったと思う。

もう少し余裕があったならば、他クラブとの交流などに価値を見出すこともできたのかもしれない。

熊谷：クラブ会員の人数の少なさは、重要な要因だったと考えている(代わりがない)。

新しい組織の活動は、極力縛らない方向を希望する。

村田：会費は徴収せず、イベントごとにボランティア参加とファンディングを完了させ、収益を

その都度茨城 YMCA 等に寄付するようにして、会計的な持ち越しがないようにしたい。

柳瀬：組織にある種の力がないと、新規の人はなかなか入ってくれないのでは？ どのようにしてその壁を超えたらいいのか？

村田：茨城 YMCA の、のべ30年の歴史においてリーダーを経験した人たちが200人ほどいるだろう。彼らは、潜在的にはワイズメンズクラブに興味があって茨城ワイズの入会者予備軍だったはずである。私自身も、私のあとに続く者が得られることを期待して入会したが、いつからか「それは難しいな」と思ってしまった。

山下：北海道の YMCA チミケップ国際キャンプ場のサポーター制度は面白い仕組みで、YMCA の職員や大学生を中心としたボランティアによって運営されており、ロータリークラブなど地域のサポートも受けている。その支援者が全国にいるが、そこからワイズメンズクラブには入会者が得られていない。そこにも、同じような要因があるのかもしれない。

熊谷：ワイズメンズクラブに組み込まれているなかでは、他クラブのイベントの案内と区や部の定例会議等でスケジュールがどんどん埋まってゆく。また、クラブ内の雑務や事務処理(例会の案内と出欠確認、例会の準備と後片付け、会計処理、ブリテン編集サポート)もあり、本当にやりたいことができないでいた。

村田：使命感のある人が仕事を拾っているうちに疲弊してしまう。それを防ぐような仕組みがなんとか作れないものか。

熊谷：過去に1回限りだったが、リーダーたちにサイクリングガイドの研修をした。そのときは、本当に楽しく実施できたことを今でも覚えている。クラブのメンバー各人の特性を生かして、茨城 YMCA に貢献する機会をもっと持てたなら、やりがいもあっただろう。

村田：茨城 YMCA に関わった学生たちは、ほぼみな YMCA のことが好きである。しかし社会に出てから戻ってきてワイズメンズクラブにかかわる人はほとんどいない。受け皿がないように思う。

大澤篤：各々が同年代の人を連れてくるしかない。30代後半の自分ですら大学生を引っ張ってすることはできない。

柳瀬：いまの茨城クラブは、なんでもしゃべれて楽しい。もう少し前からこの状態を作っていた

らよかった。振り返ると、最初の頃からしばらくの間というかずっと、そうではなかった。  
大澤篤:今後のコミュニケーションツールは何がいい?

熊谷:メールやMLだと発言に対する他のメンバーのリアクションを確認できない。LINEがよいのでは?

柳瀬:LINEなら既に使っているの、私もOK。

山下:そのLINEグループに、私もぜひ参加させてほしい。

残っている今期の例会(あと3回)については、4月と5月はオンラインあるいは休会とするかもしれませんが、6月の最後の例会だけはリアル開催する方針を確認して散会しました。

(書記 村田)

## 【事務報告】

### クラブ解散手続きの進捗

3月18日、関東東部長尾昌男部長(千葉ウエスト)宛に、茨城クラブの解散届を送信いたしました。同日、長尾部長から東日本区山田公平理事に送信していただきました。

なお、茨城クラブの解散届を当ブリテンの最終ページに添付いたしました。

(会長 熊谷)

### 会計報告(3月8日~4月4日)

前月繰越金	¥50,522-
バザー経費(容器)	△¥1,267-
次月へ繰越	¥49,255-

会員みなさまにおかれましては、会費の前納にご協力を賜りたく願います。

(会計 柳瀬)

## 【茨城YMCA報告】

### 4月の報告

- 1日 学童新入生歓迎会
- 1日 牛久オリーブ園入園式
- 6日 幼保園・つくばオリーブ園入園式
- 8日 スプリングスクール終了
- 8日 幼保園進級式
- 8日 早天祈祷会
- 11日 主任会
- 26日 職員礼拝・職員会
- 27日 小学生ディキャンプクラブつくわい
- 27日 東日本地区総主事理事研修会

28日 障がい児者自立支援たんぽぽクラブ

28~29日 ボランティアリーダー新歓

### 5月の予定

3~4日 赤城プレキャンプ

3~4日 北関東YMCA合同リーダープレキャンプ

4~6日 全国リーダー研修会(盛岡YMCA主催、3年目以上の学生リーダー対象)

11日 4、5歳児ディキャンプクラブわんぱく

12日 中高生ディキャンプクラブユース

13日 早天祈祷会

14日 主任会

18日 定期総会、会員の集い、みどりのバザー

18~19日 リーダーズキャンプ

25~26日 春のオーバーナイトキャンプ

28日 職員礼拝・職員会

(連絡主事 和田)

## 【編集後記】

いよいよ、解散が決議される運びとなりました。ワイズメンズクラブは誰のために続けられるべきものなのか、よく考え抜かれたうえの結果だと思います。解散にあたりまして、いろいろなお意見をいただきましたが、ワイズメンズクラブは誰のために続けられるものなのか、という本質から外れたご意見もあり、正直なところ悲しい思いもしました。この茨城クラブの決断が、いつか全国のワイズメンズクラブの方向性がよりよいものとなるための、蝶の羽ばたき(バタフライエフェクト)となることを、たいへん身勝手であることを承知で、それでもあえて口をつぐまずに申し上げたいと思います。

茨城クラブのブリテンは今期をもって終了となります。最終回は、楽しくこれまでを振り返ることといたしたく、複雑な思いは先に書いてしまうことにしました。

ワイズメンズクラブが解散をしても、ワイズメンバーの茨城クラブへの奉仕や献身は、これまでとなんら変わることはありません。

5月18日から19日にかけて、茨城YMCAリーダーズキャンプが開催されることになりました。茨城YMCAの30周年を、世代を超えてお祝いし、久々の再開を全力で楽しみ、みらいのYMCAを作っていきたいと考えています。

(書記 村田)

2024年3月18日

ワイズメンズクラブ国際協会  
東日本区理事 山田 公平 様  
関東東部 部長 長尾 昌男 様

## クラブ解散届

茨城ワイズメンズクラブ  
会長 熊谷 光彦

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

今般、茨城ワイズメンズクラブは、今年度末（2024年6月末日）をもって解散させて頂きたく下記の通り、ご報告申し上げます。なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今までの茨城クラブへのご支援やご協力に感謝申し上げますとともに、ワイズメンズクラブの皆様のご今後のご活躍をご祈念いたします。

敬具

## 記

1. 解散日 2024年6月30日

2. 解散決議までの経緯

茨城ワイズメンズクラブは、2006年3月4日の発足以来、地域のボランティア組織として茨城YMCAを支え、茨城YMCAと協働しながら活動して参りました。今後もこれまでと同様に継続的に活動を行ってゆくための協議を、年明けからの例会において、また不定期の役員会において、現体制の維持に関しての検討をしておりました。その結論として、ワイズメンズクラブとしての茨城クラブ運営の継続が、もはや不可能であると判断いたしました。

2024年3月のクラブ例会は、「茨城クラブ臨時総会」として会長が召集（欠席の場合は会長に委任するとの了解をあらかじめ得た上で）開催し、全会一致にて「クラブ解散」を決議いたしました。

3. 解散日における会員（8名）

会長	熊谷 光彦
副会長	稲本 修一
書記	村田 淳
会計	柳瀬 久美子
担当主事	和田 賢一
その他の会員	大澤 篤人（他クラブへ移籍予定）
	金子 和夫
	宮田 康男（茨城YMCA 総主事）

以上